

鈴鹿川、雲出川、宮川水系 河川整備計画の点検

三重河川国道事務所
令和3年10月11日



国土交通省中部地方整備局
三重河川国道事務所



治水に関する取組

鈴鹿川	進捗状況、実施中の事業、事業の内容	1
雲出川	進捗状況、実施中の事業、事業の内容	12
宮川	進捗状況、実施中の事業、事業の内容	20

利水に関する取組

環境に関する取組

鈴鹿川	水生生物調査、河川水辺の国勢調査	27
雲出川	水生生物調査、河川水辺の国勢調査	29
宮川	水生生物調査、河川水辺の国勢調査	31

維持管理に関する取組

鈴鹿川	事業の内容（維持）	34
雲出川	事業の内容（維持）	35
宮川	事業の内容（維持）	36

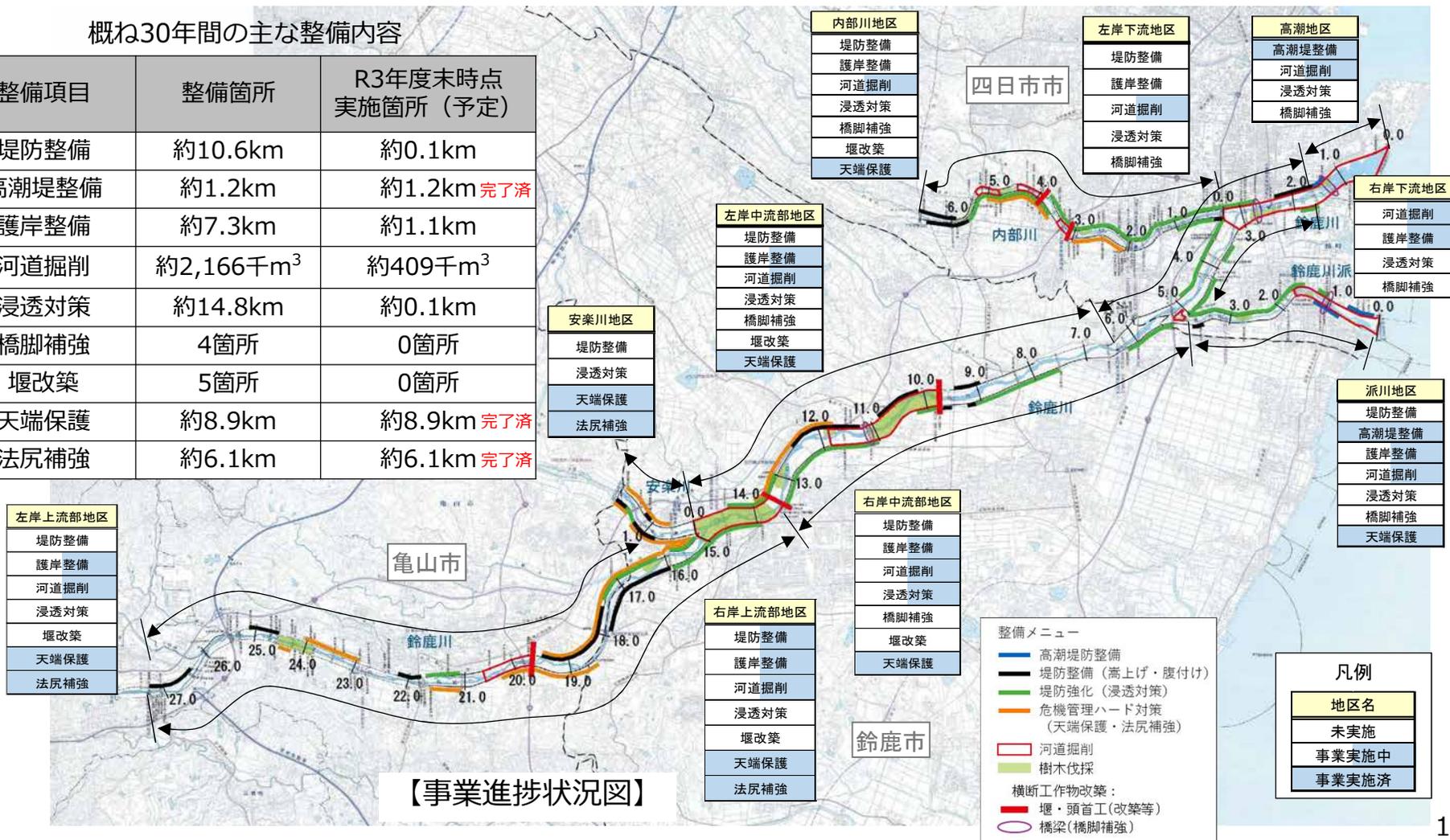
鈴鹿川 進捗状況



- 整備目標流量を安全に流下させるため、護岸整備、河道掘削、樹木伐採を重点的に進めており、河川整備計画（平成28年12月策定）に基づく事業の進捗率は、事業費ベースで**約16%**程度となっています。
- 引き続き、関係機関と十分な連携・調整を図りながら事業を実施していきます。

概ね30年間の主な整備内容

整備項目	整備箇所	R3年度末時点 実施箇所（予定）
堤防整備	約10.6km	約0.1km
高潮堤整備	約1.2km	約1.2km 完了済
護岸整備	約7.3km	約1.1km
河道掘削	約2,166千m ³	約409千m ³
浸透対策	約14.8km	約0.1km
橋脚補強	4箇所	0箇所
堰改築	5箇所	0箇所
天端保護	約8.9km	約8.9km 完了済
法尻補強	約6.1km	約6.1km 完了済



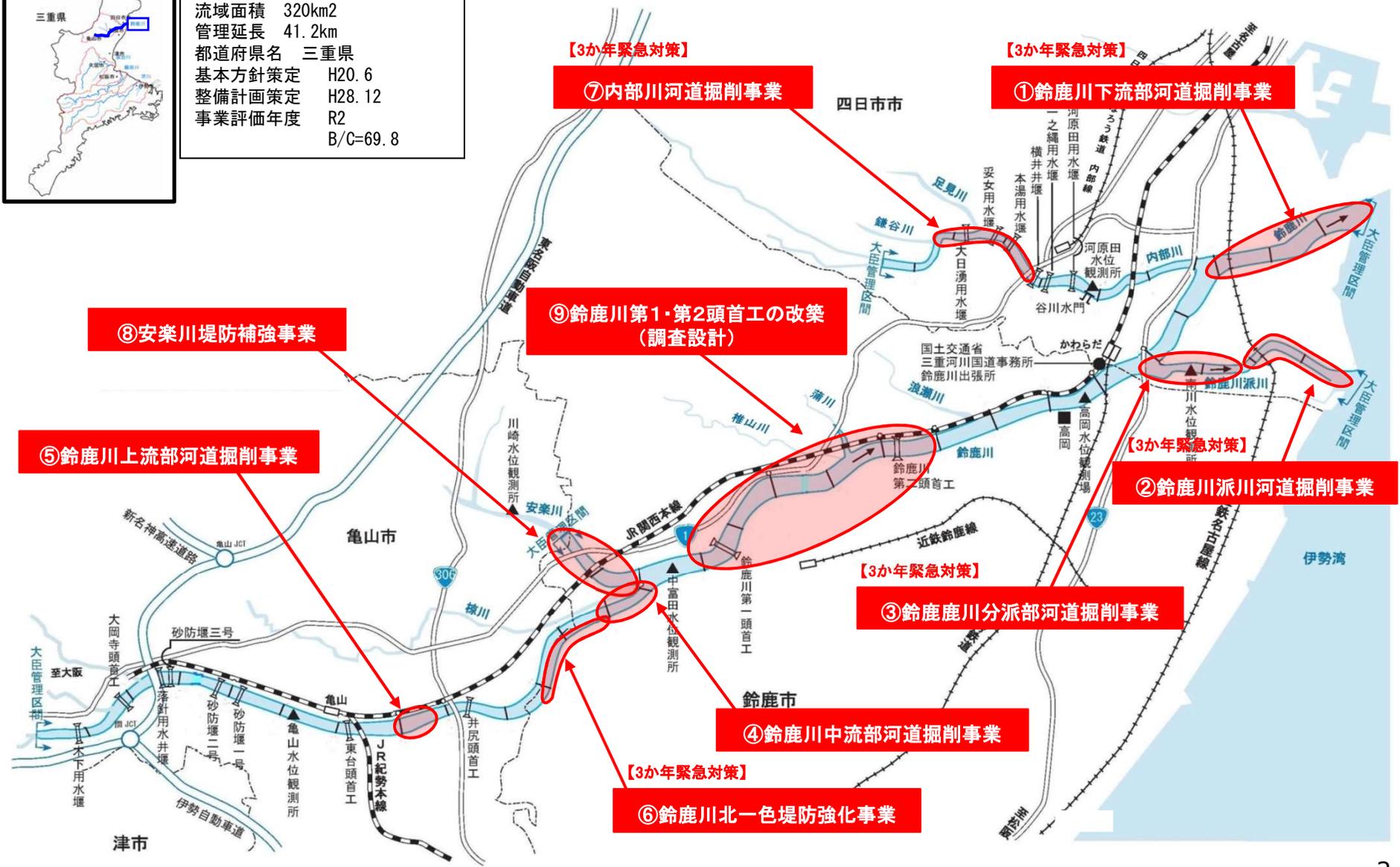
鈴鹿川 実施中の事業



国土交通省中部地方整備局
三重河川国道事務所



【河川概要】	
流域面積	320km ²
管理延長	41.2km
都道府県名	三重県
基本方針策定	H20.6
整備計画策定	H28.12
事業評価年度	R2
	B/C=69.8



① 鈴鹿川下流部河道掘削事業 【3か年緊急対策】

- 鈴鹿川（四日市市塩浜地先）では、整備目標流量を安全に流下させるため、河道掘削、低水護岸整備、橋梁補強を実施する必要があります。
- 現在、河道掘削、低水護岸整備を実施しており、引き続き、事業を実施します。

位置図



工事イメージ図



対策前



対策後



① 鈴鹿川下流部河道掘削事業 【3か年緊急対策】

対策前



対策後



対策中
(水中ブルドーザー
による掘削)



鈴鹿川 事業の内容



②鈴鹿川派川河道掘削事業 【3か年緊急対策】

- 鈴鹿川（四日市市楠町北五味塚地先）では、整備目標流量を安全に流下させるため、河道掘削、樹木伐採、橋梁補強を実施する必要があります。
- 現在、河道掘削、樹木伐採を実施しており、引き続き、事業を実施します。

位置図



工事イメージ図



対策前



対策後



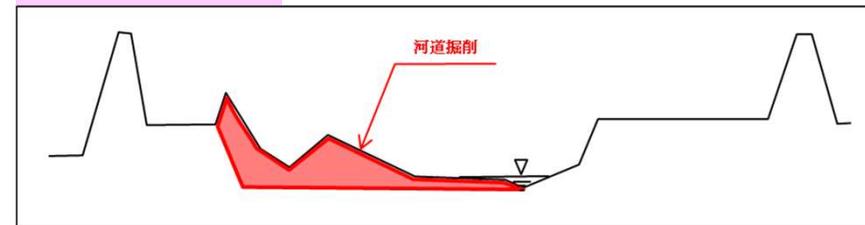
④ 鈴鹿川中流部河道掘削事業

- 鈴鹿川（鈴鹿市和泉町地先）では、整備目標流量を安全に流下させるため、河道掘削を実施する必要があります。
- 現在、河道掘削を実施しており、引き続き、事業を実施します。

位置図



工事イメージ図



対策前



対策後



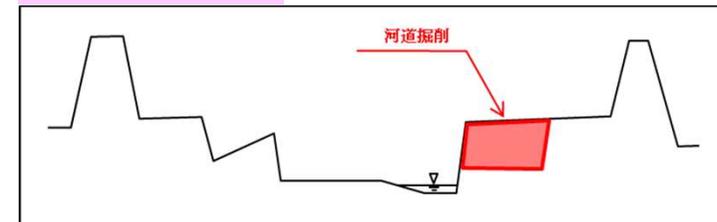
⑤ 鈴鹿川上流部河道掘削事業

- 鈴鹿川（亀山市南鹿島町地先）では、整備目標流量を安全に流下させるため、河道掘削を実施する必要があります。
- 現在、**河道掘削**を実施しており、引き続き、事業を実施します。

位置図



工事イメージ図



対策前



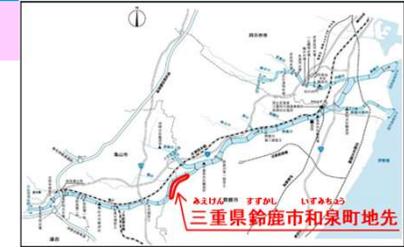
対策後



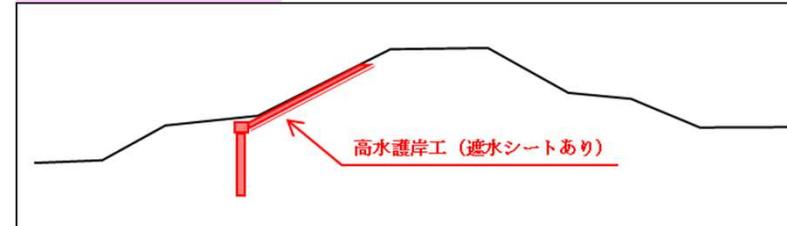
⑥ 鈴鹿川北一色堤防強化事業 【3か年緊急対策】

- 鈴鹿川（鈴鹿市和泉町地先）では、堤防の浸透に対する安全性が確保されていないため、浸透対策を実施する必要がありました。
- 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」により、**浸透対策**を実施し、事業を完了しました。

位置図



工事イメージ図



対策前



対策後



鈴鹿川 事業の内容



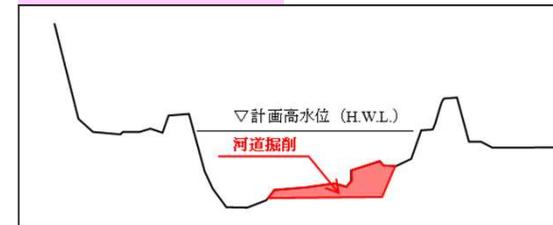
⑦内部川河道整備事業 【3か年緊急対策】

- ▶ 内部川（四日市市采女町地先）では、整備目標流量を安全に流下させるため、河道掘削を実施する必要があります。
- ▶ 現在、**河道掘削**を実施しており、引き続き、事業を実施します。

位置図



工事イメージ図



対策前



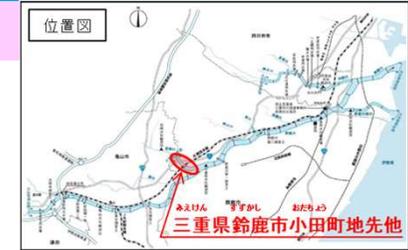
対策後



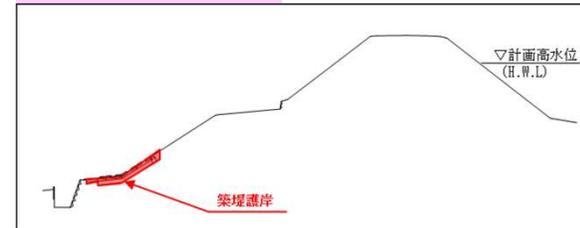
⑧安楽川堤防補強工事

- 安楽川（鈴鹿市小田町地先他）では、越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすため、法尻補強を実施する必要性がありました。
- これまでに、**法尻補強**を実施しており、事業を完了しました。

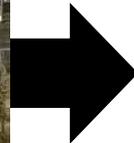
位置図



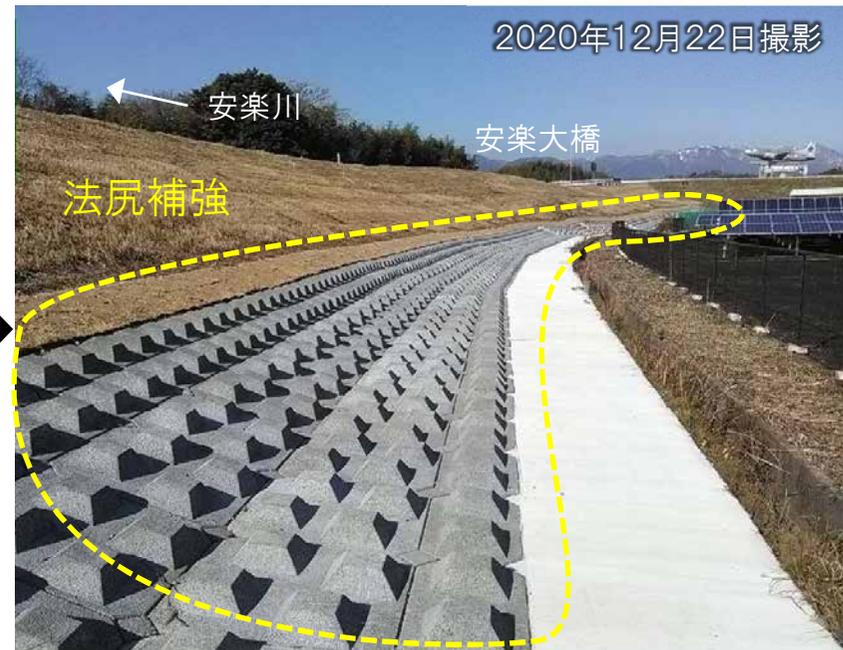
工事イメージ図



対策前

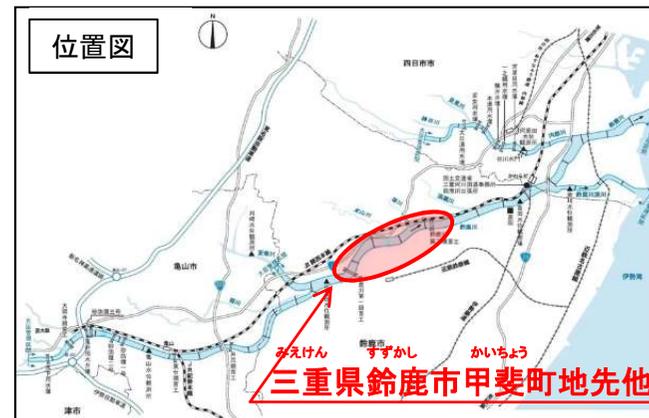


対策後



⑨ 鈴鹿川第1・第2頭首工の改築(調査設計)

- 鈴鹿川（鈴鹿市甲斐町地先他）では、整備目標流量を安全に流下させるため、鈴鹿川第1・第2頭首工の改築を実施する必要があります。
- 現在、調査設計を実施しており、引き続き、工事実施に向けて関係機関等と連携・調整を図りながら事業を実施します。



地質ボーリング調査



2019年11月2日撮影

関係機関との調整会議



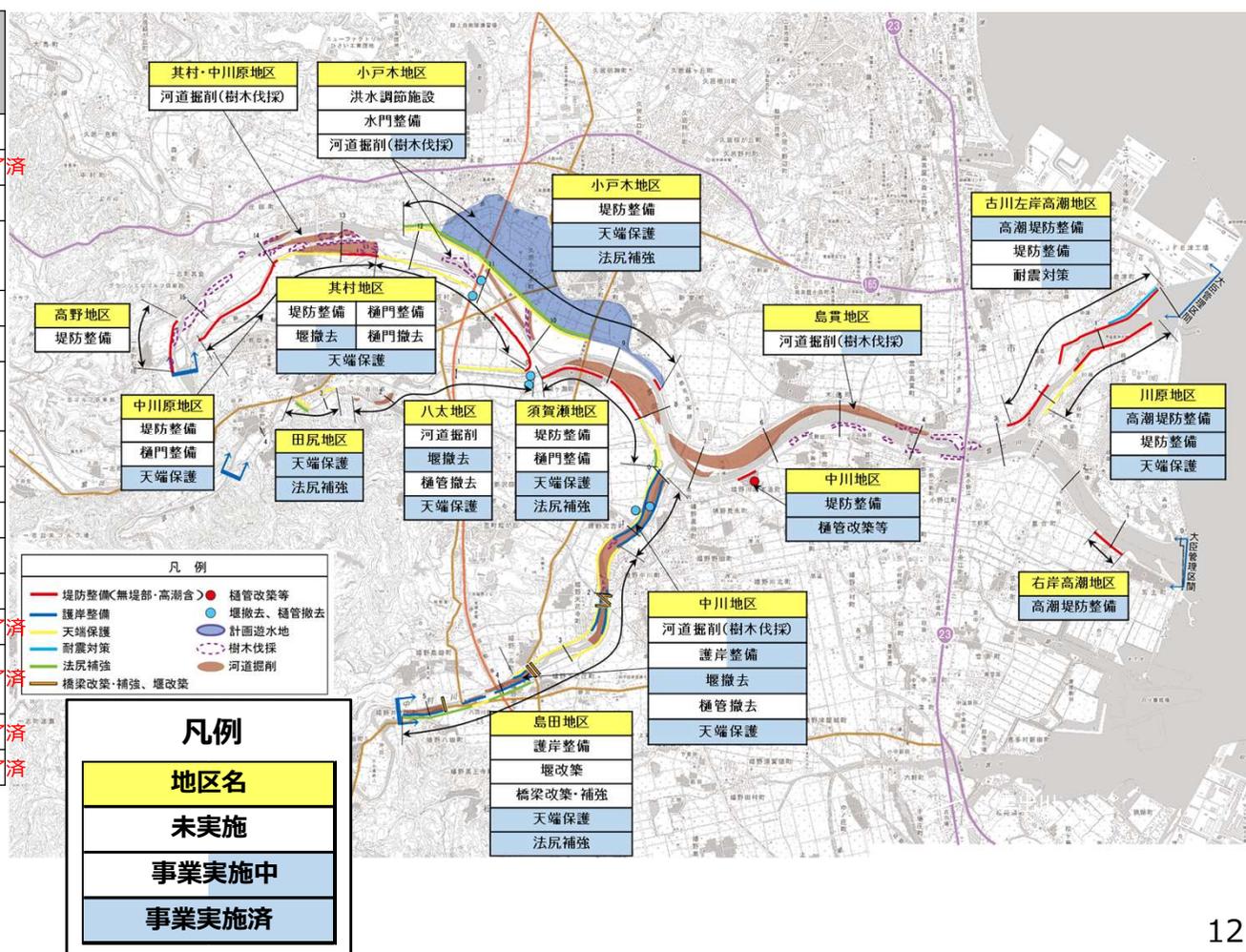
2020年10月7日撮影

- 整備目標流量を安全に流下させるため、河道掘削、樹木伐採、護岸整備を重点的に進めており、河川整備計画（平成26年11月策定）に基づく事業の進捗率は、事業費ベースで約**34%**程度となっています。
- 引き続き、関係機関と十分な連携・調整を図りながら事業を実施していきます。

概ね30年間の主な整備内容

整備項目	整備箇所	R3年度末時点 整備箇所（予定）
堤防整備	9.3km	0.7km
高潮堤対策	3.1km	3.1km 完了済
耐震対策	0.8km	0.3km
河道掘削 (樹木伐採含)	1,515km ³	360km ³
護岸整備	5.6km	2.4km
水門整備	1式	—
排水樋門・樋管 整備	3箇所	—
堰改築	3箇所	—
橋梁改築・補強	3箇所	—
洪水調節施設	1式	—
堰撤去	3箇所	2箇所
樋管撤去	3箇所	—
樋管改築	1箇所	1箇所 完了済
揚水機場 水路整備	1式	1式 完了済
天端保護	12.6km	12.6km 完了済
法尻補強	4.6km	4.6km 完了済

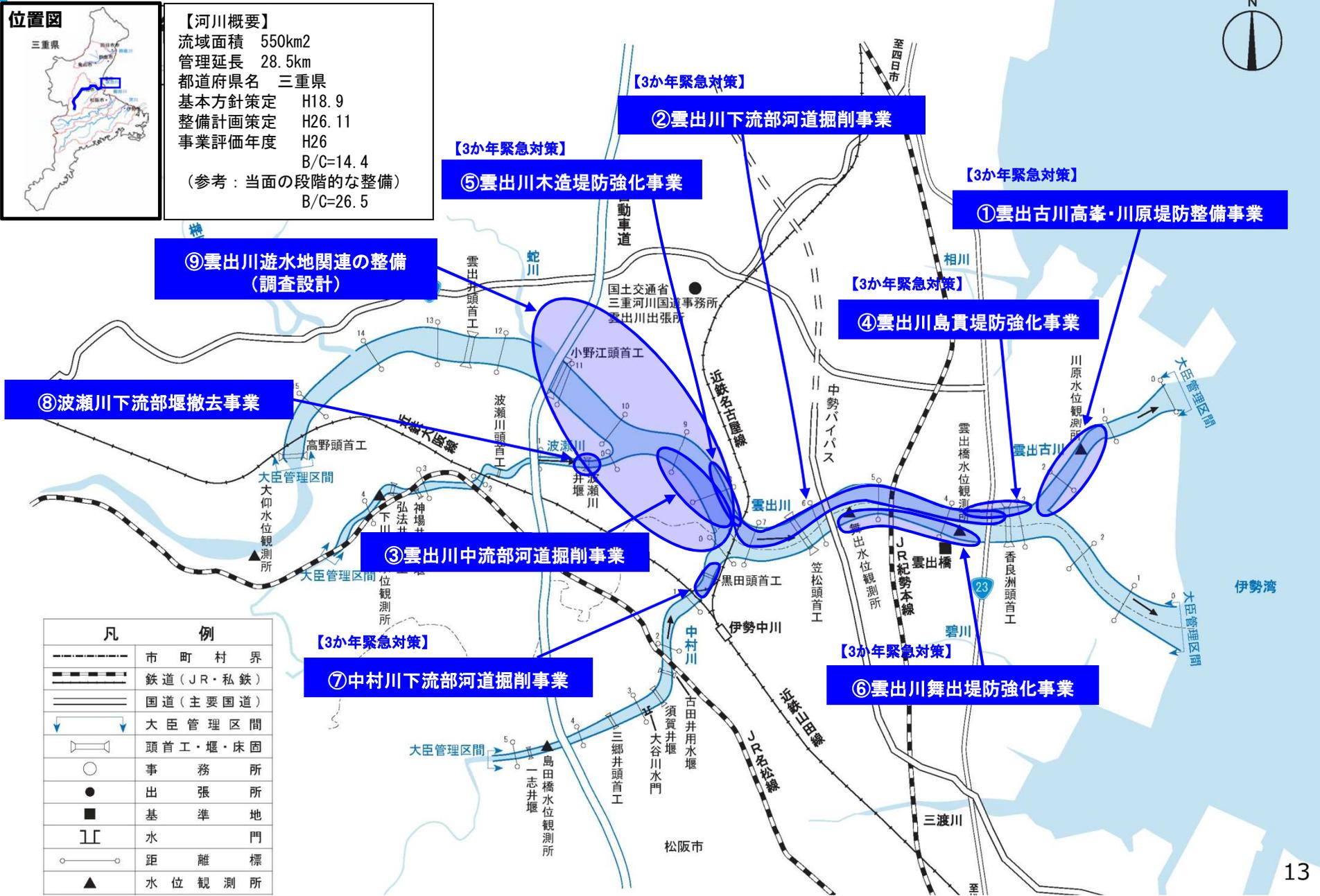
【事業進捗状況図】



雲出川 実施中の事業



【河川概要】
 流域面積 550km²
 管理延長 28.5km
 都道府県名 三重県
 基本方針策定 H18.9
 整備計画策定 H26.11
 事業評価年度 H26
 B/C=14.4
 B/C=26.5
 (参考：当面の段階的な整備)



凡	例
--- ---	市 町 村 界
—+—+—+—	鉄道 (JR・私鉄)
====	国道 (主要国道)
⇄	大臣管理区間
▽	頭首工・堰・床固
○	事 務 所
●	出 張 所
■	基 準 地
┌┐	水 門
○—○	距 離 標
▲	水 位 観 測 所

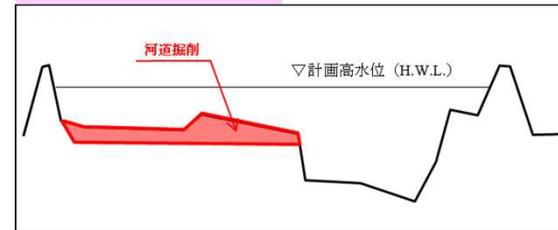
②雲出川下流部河道掘削事業 【3か年緊急対策】

- 雲出川（津市木造町地先他）では、整備目標流量を安全に流下させるため、河道掘削、樹木伐採を実施する必要があります。
- 現在、**河道掘削**を実施しており、引き続き、事業を実施します。

位置図



工事イメージ図



対策前



対策後



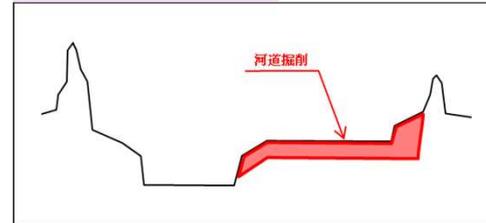
③雲出川中流部河道掘削事業

- 雲出川（津市須ヶ瀬町地先）では、整備目標流量を安全に流下させるため、河道掘削を実施する必要があります。
- 下流部に引き続き、令和3年度より、**河道掘削**を実施していきます。

位置図



工事イメージ図



対策箇所



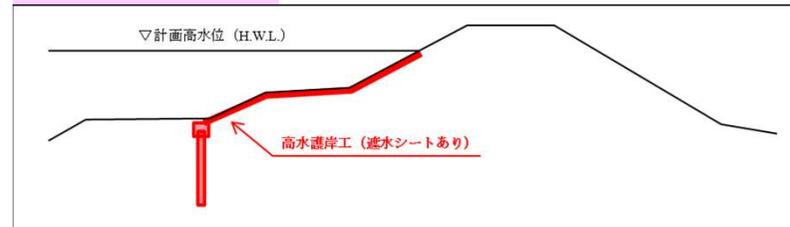
⑥雲出川舞出堤防強化事業 【3か年緊急対策】

- 雲出川（松阪市舞出町地先他）では、堤防の浸透に対する安全性が確保されていないため、浸透対策を実施する必要がありました。
- 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」により、**浸透対策**を実施し、事業を完了しました。

位置図



工事イメージ図



対策前



対策後



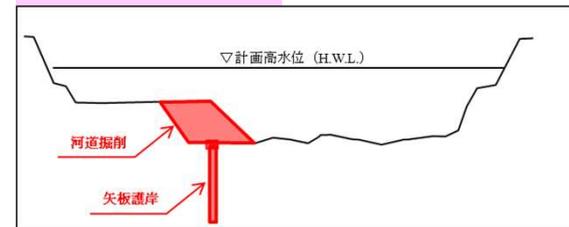
⑦中村川下流部河道掘削事業 【3か年緊急対策】

- 中村川（松阪市嬉野宮古町地先）では、整備目標流量を安全に流下させるため、河道掘削、護岸整備、横断工作物撤去を実施する必要があります。
- 令和元年度に、横断工作物（黒田頭首工）撤去が完了しました。
- 現在、河道掘削、護岸整備を実施しており、引き続き、事業を実施します。

位置図



工事イメージ図



対策前



対策後



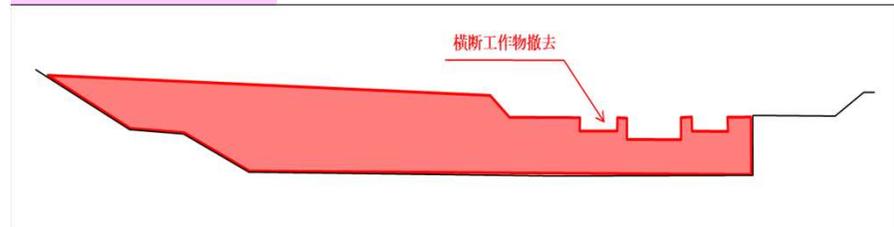
⑧波瀬川下流部堰撤去事業

- 波瀬川（津市須ヶ瀬町地先）では、取水施設統合により不要となった横断工作物撤去を実施する必要がありました。
- 令和3年度出水期前までに、横断工作物（波瀬川井堰）撤去が完了しました。

位置図



工事イメージ図



対策前

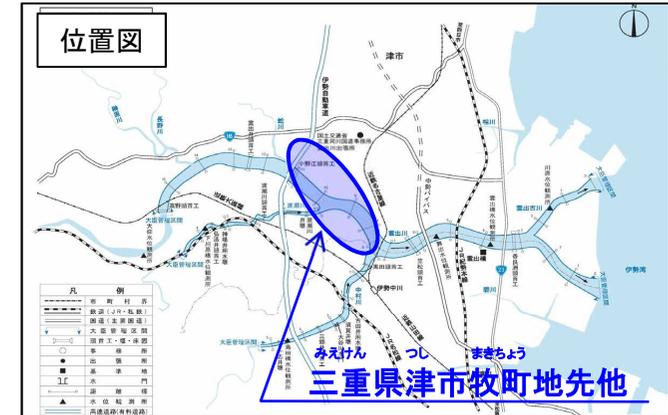


対策後



⑨雲出川遊水地関連の整備(調査設計)

- 雲出川（津市牧町地先他）では、整備目標流量を安全に流下させるため、流域内の遊水機能の確保（無堤部対策）を実施する必要があります。
- 現在、**調査設計**を実施しており、引き続き、工事実施に向けて関係機関等と連携・調整を図りながら事業を実施します。



関係機関との調整会議



2021年2月22日撮影



地元説明会



2020年8月25日撮影

地質ボーリング調査

宮川 進捗状況

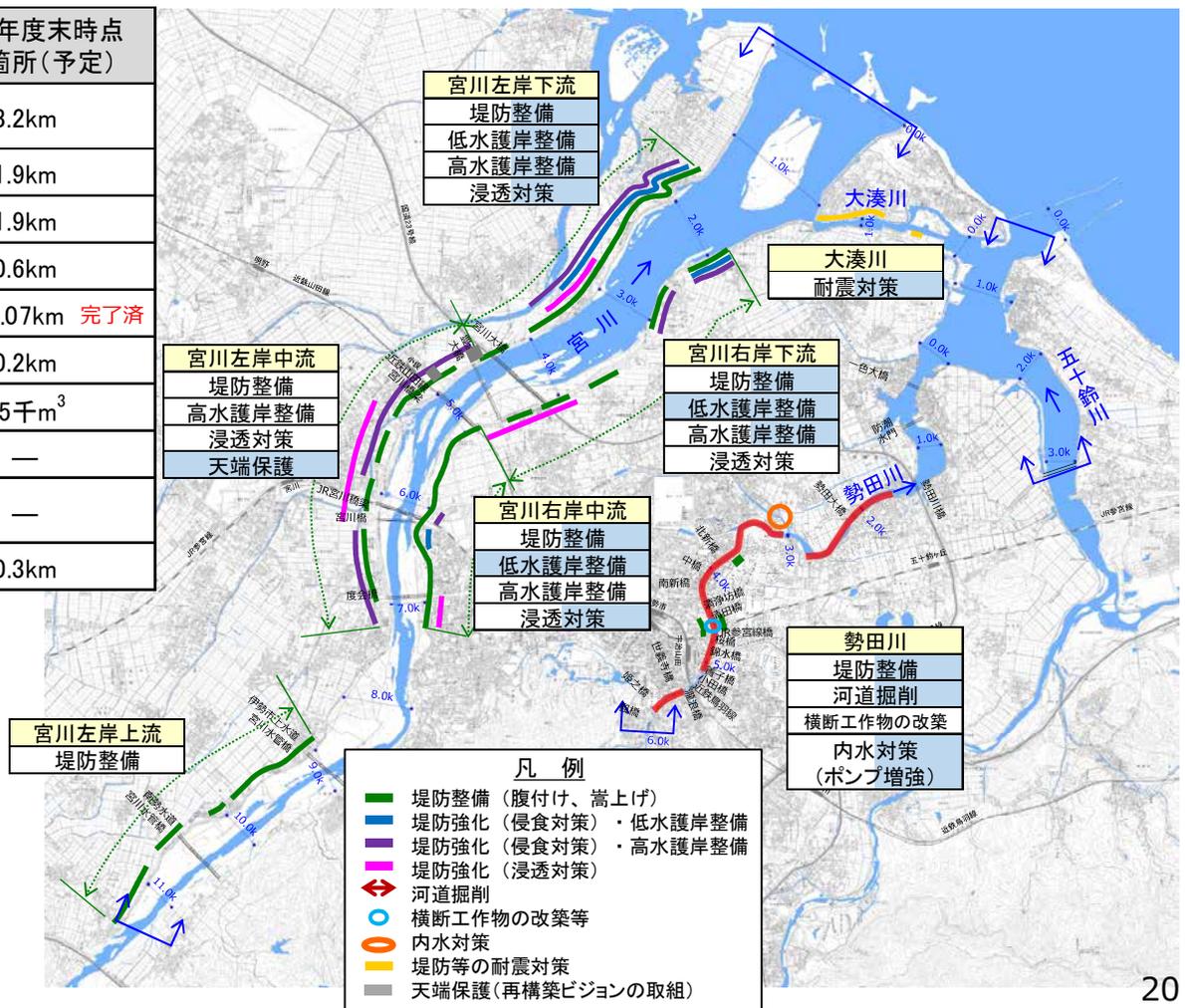
- 整備目標流量を安全に流下させるため、堤防整備、河道掘削、内水対策を重点的に進めており、河川整備計画（平成27年11月策定）に基づく事業の進捗率は、事業費ベースで**約46%**程度となっています。
- 引き続き、関係機関と十分な連携・調整を図りながら事業を実施していきます。

概ね30年間の主な整備内容

河川名	整備項目	整備箇所	令和3年度末時点整備箇所(予定)
宮川	堤防整備 (腹付け、嵩上げ)	11.1km	3.2km
	低水護岸整備	2.4km	1.9km
	高水護岸整備	5.9km	1.9km
	浸透対策	3.1km	0.6km
	天端保護	0.07km	0.07km 完了済
勢田川	堤防整備	0.6km	0.2km
	河道掘削	79千m ³	65千m ³
	横断工作物の改築	1橋	—
	内水対策 (桧尻川排水機場増強)	1施設	—
大湊川	堤防等の耐震対策	1.1km	0.3km

【事業進捗状況図】

凡例	
地区名	未実施
事業実施中	事業実施済



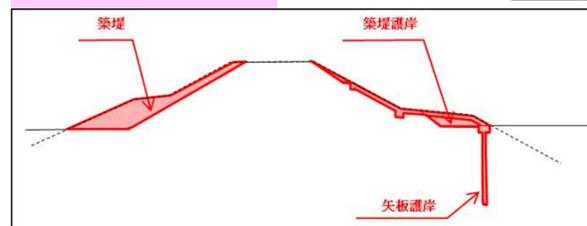
①宮川西豊浜堤防整備事業

- 宮川（伊勢市磯町地先）では、整備目標流量を安全に流下させるため、堤防整備を実施する必要があります。
- 現在、**堤防整備**を実施しており、引き続き、事業を実施します。

位置図



工事イメージ図



対策前



対策後



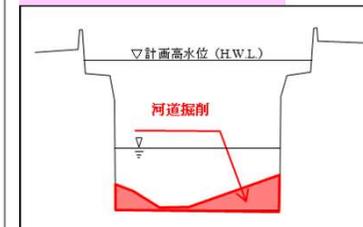
③ 勢田川流域浸水対策緊急事業 【3か年緊急対策】

- 勢田川（伊勢市田尻町地先他）では、整備目標流量を安全に流下させるため、河道掘削等を実施する必要があります。また、内水対策としてポンプ増強を実施する必要があります。
- 勢田川流域では、平成29年10月台風第21号による浸水被害を受け、市、県、国で「浸水対策実行計画」を策定し、三者で総合的・一体的に対策を進めています。
- 現在、河道掘削、ポンプ増強（桧尻川排水機場）を実施しており、引き続き、事業を実施します。

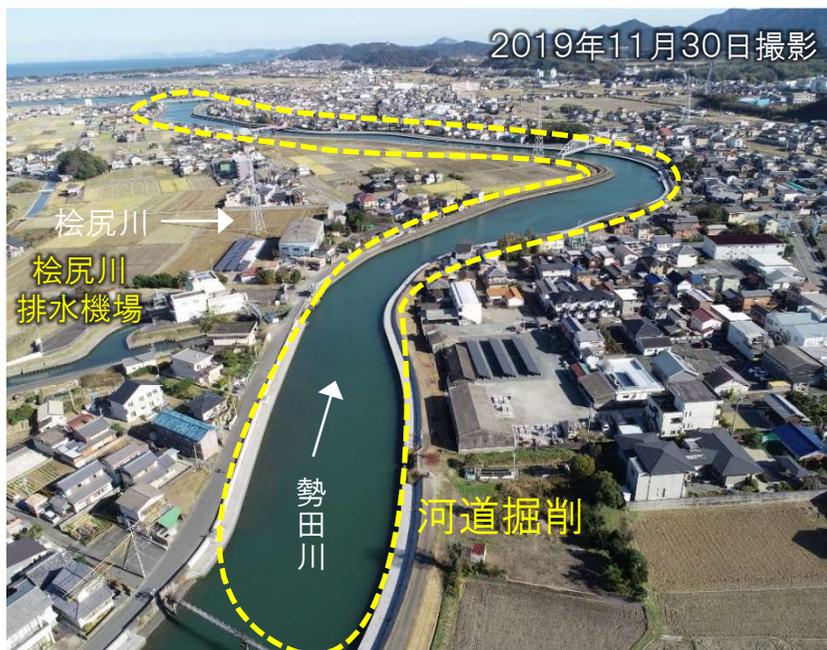
位置図



工事イメージ図



全景



対策状況
(河道掘削)

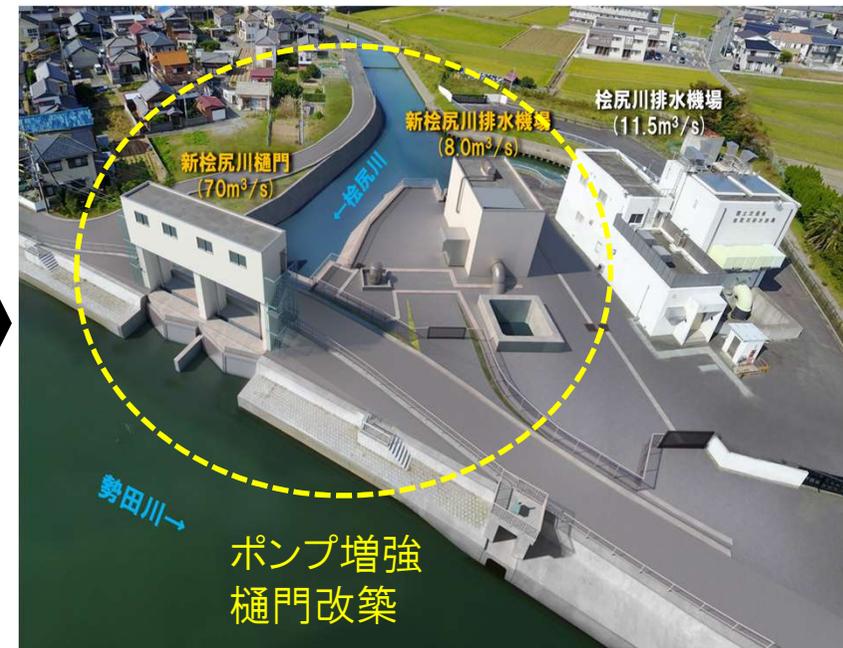


③ 勢田川流域浸水対策緊急事業

対策前



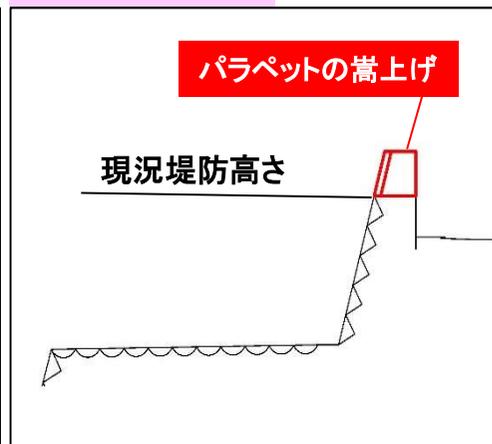
対策後イメージ



③ 勢田川流域浸水対策緊急事業

- 勢田川（伊勢市岡本地先他）では、当面の緊急的な措置として、JR参宮線勢田川橋梁の上流区間における水位上昇による越流等のリスクを低減させる方策として、JR参宮線勢田川橋梁部から直轄上流端までの約1.4km区間の左右岸パラペットの嵩上げ（余裕高の確保）を行う必要があります。
- 現在、パラペットの嵩上げを実施しており、引き続き、事業を実施します。

工事イメージ図



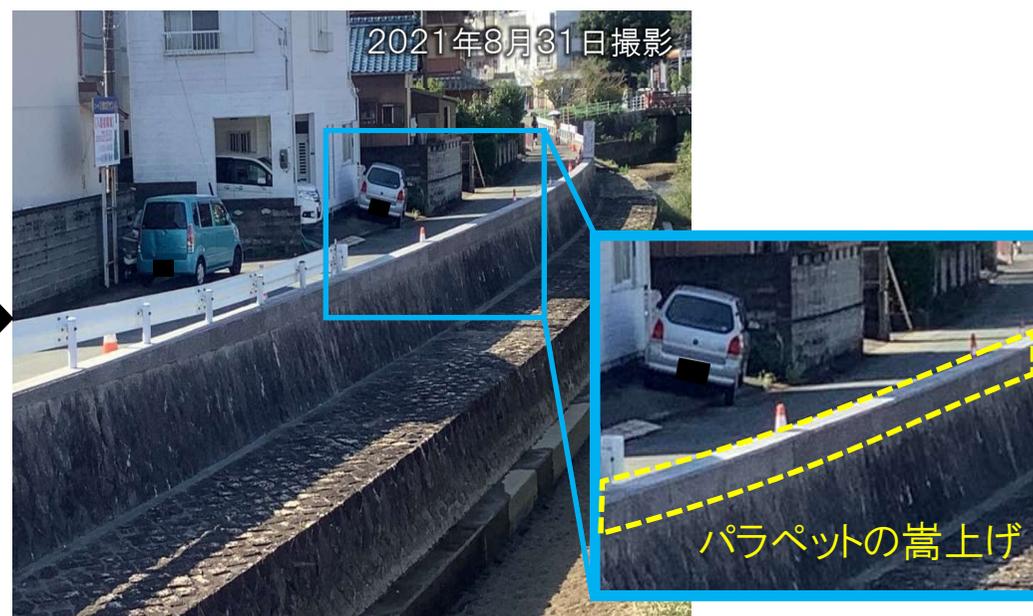
位置図



対策前



対策後



④大湊川堤防耐震事業

- 大湊川（伊勢市大湊町町地先）では、大規模地震等で基礎地盤の液状化等により堤防の沈下、崩壊、ひび割れ等が生じた場合、浸水による二次災害及び津波による被害の恐れがあります。そのため、耐震対策を実施する必要があります。
- 現在、**耐震対策**を実施しており、引き続き、事業を実施します。

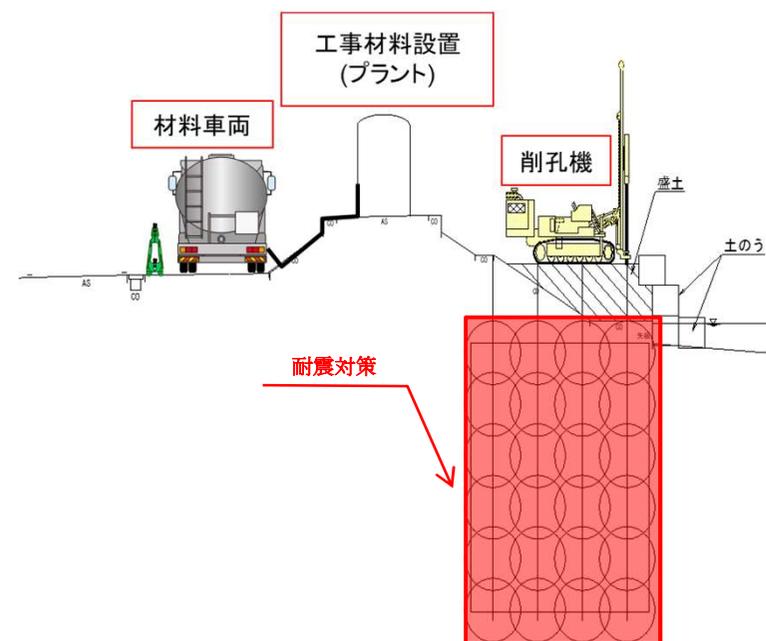
位置図



対策中



工事イメージ図



鈴鹿川 環境に関する取組(水生生物調査)

- 三重河川国道事務所では、川の水質保全の重要性や河川愛護の関心等を深めるために「水生生物調査」を毎年実施しています。
- 今年度は新型コロナウイルスの感染防止に配慮しながら調査を実施しました。鈴鹿川では1地点1団体26名の参加により実施しました。



新矢矧橋【内部川】		
調査時期	参加人数	水質階級
令和元年	中止	—
令和2年	(直営)	IV (参考)
令和3年	(直営)	I (参考)

河原田橋【内部川】		
調査時期	参加人数	水質階級
令和元年	29人	(屋内)
令和2年	(直営)	I (参考)
令和3年	26人	II

和泉橋【安楽川】		
調査時期	参加人数	水質階級
令和元年	—	—
令和2年	(直営)	I (参考)
令和3年	(直営)	II (参考)

亀山橋【鈴鹿川】		
調査時期	参加人数	水質階級
令和元年	5人	I
令和2年	(直営)	I (参考)
令和3年	(直営)	I (参考)

庄野橋【鈴鹿川】		
調査時期	参加人数	水質階級
令和元年	8人	I
令和2年	(直営)	II (参考)
令和3年	(直営)	IV (参考)

水生生物調査の実施状況



確認された指標生物 (R3調査)





- 令和2年度は鳥類の調査を実施しました。
- 確認種数は、最近2年は概ね100種前後で推移しており、横ばい傾向です。
- 重要種数も同様に、最近2年は15~16種であり、横ばい傾向です。
- 外来種は、コジュケイとカワラバト(ドバト)の2種が経年的に確認されています。

河川水辺の国勢調査の実施状況(鈴鹿川：H13以降)

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
魚類			●					●					●					●					●		
底生動物			●					●					●						●					●	
鳥類					●					●									●		●				
両生類・爬虫類・哺乳類				●					●										●						
陸上昆虫類		●					●											●							
植物	●					●											●								
河川環境基図	●					●						●					●					●			



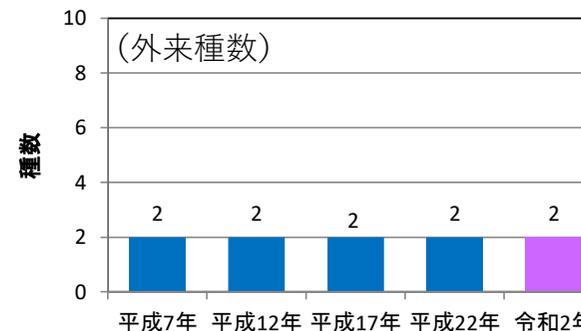
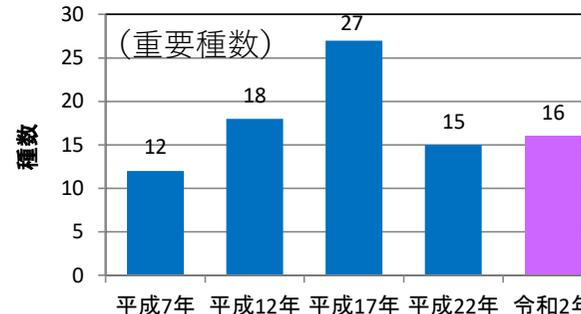
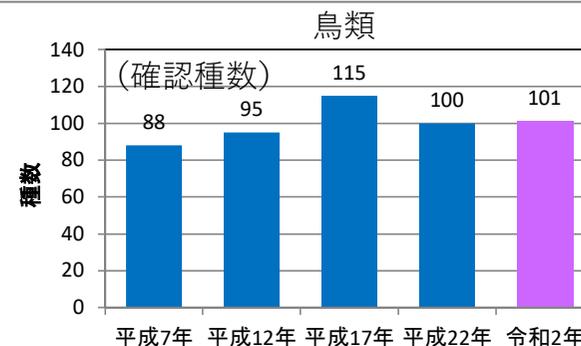
重要種
(コアジサシ)



重要種
(イカルチドリ)



集団分布地
(スズガモの集団休息地)



水辺現地調査における確認種数の推移
※種数は最新の対象生物リストに基づく集計値

雲出川 環境に関する取組(水生生物調査)



国土交通省中部地方整備局
三重河川国道事務所

➤ 雲出川における水生生物調査の実施状況について、今年度は1地点1団体65名の参加により実施しました。

小野江頭首工【雲出川】		
調査時期	参加人数	水質階級
令和元年	—	—
令和2年	65人	I
令和3年	30人	I

小戸木橋【雲出川】		
調査時期	参加人数	水質階級
令和元年	91人	(屋内)
令和2年	(直営)	II(参考)
令和3年	(直営)	II(参考)

桜つつみ公園【中村川】		
調査時期	参加人数	水質階級
令和元年	25人	(屋内)
令和2年	(直営)	I(参考)
令和3年	(直営)	II(参考)



水生生物調査の実施状況

小野江頭首工

R2

R3

確認された指標生物 (R3調査)

水質階級 I	水質階級 II	水質階級 IV	水質階級 IV
ヒラタカゲロウ類	オオシマトビケラ	ミズカマキリ	ユスリカ類
ナガレトビケラ類			



- 令和2年度は魚類、底生動物の調査を実施しました。
- 確認種数、重要種数は、魚類は概ね横ばい、底生動物は分類学的知見の向上に伴い増加傾向にあります。
- 外来種数は、魚類、底生動物ともに近年増加傾向にあります。

河川水辺の国勢調査の実施状況（雲出川：H13以降）

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
魚類					●					●					●					●					●
底生動物					●						●				●					●					●
鳥類		●					●					●												●	
両生類・爬虫類・哺乳類	●						●										●								
陸上昆虫類				●										●											●
植物		●						●											●						
河川環境基図		●																	●					●	



重要種（カマキリ）



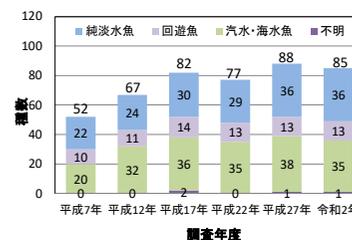
重要種（ミナミメダカ）



外来種（コクチバス）

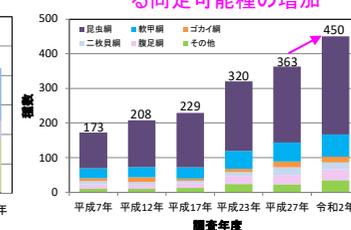
魚類

(確認種数)

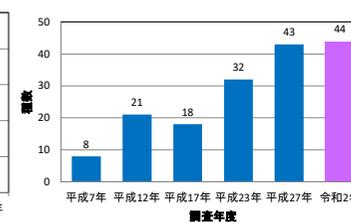
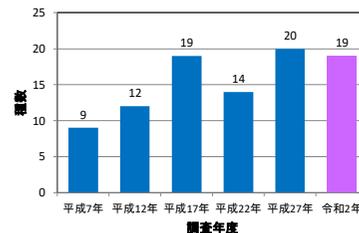


底生動物

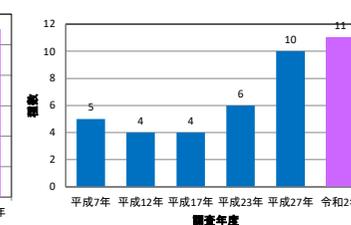
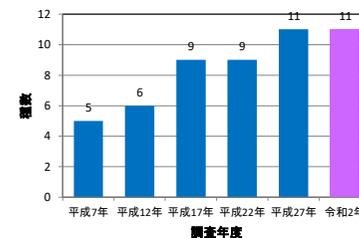
分類学的知見の向上による同定可能種の増加



(重要種数)



(外来種数)



水辺現地調査における確認種数の推移
※種数は最新の対象生物リストに基づく集計値

宮川 環境に関する取組(水生生物調査)

➤ 宮川における水生生物調査の実施状況について、今年度は1団体の参加希望がありましたが、熱中症警戒アラートの発令により中止となったため、団体参加による実施はありませんでした。

度会橋【宮川】		
調査時期	参加人数	水質階級
令和元年	—	—
令和2年	(直営)	II (参考)
令和3年	(直営)	II (参考)

御側橋【五十鈴川】		
調査時期	参加人数	水質階級
令和元年	9人	I
令和2年	(直営)	I (参考)
令和3年	(直営)	I (参考)

宮川水管橋下流(昼田)【宮川】		
調査時期	参加人数	水質階級
令和元年	26人	(I)
令和2年	(直営)	I (参考)
令和3年	(直営)	I (参考)

水生生物調査の実施状況

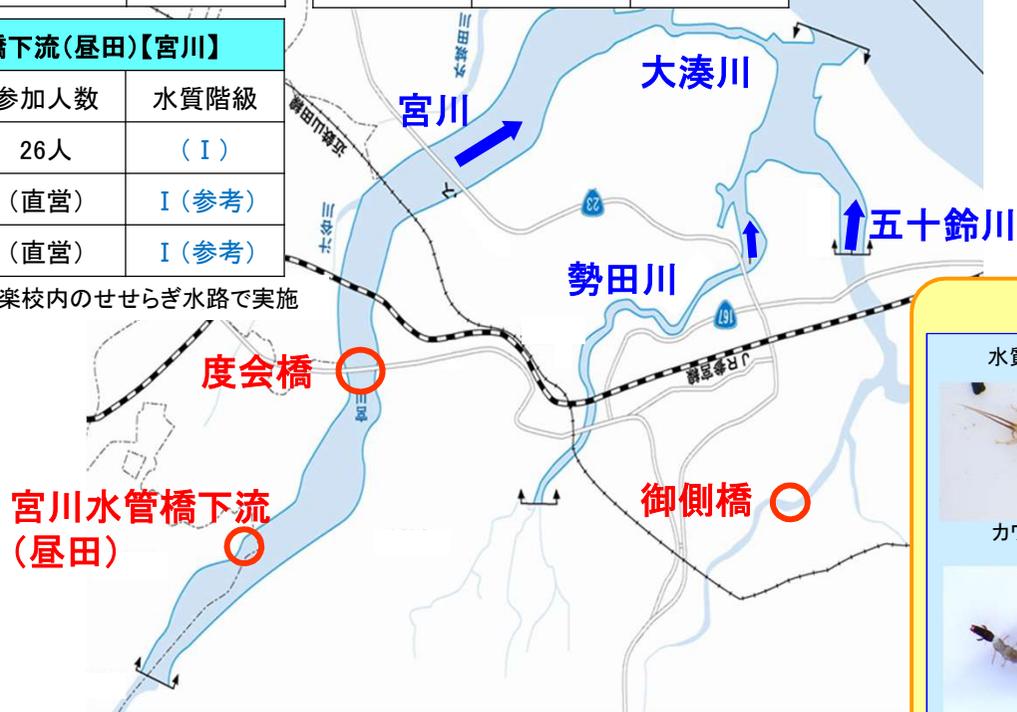
御側橋(R1)



宮川水管橋下流(R1)
(昼田せせらぎ水路)



※R1は昼田水辺の楽校内のせせらぎ水路で実施



確認された指標生物(R3調査)

水質階級 I	水質階級 II	水質階級 IV
カワゲラ類	ヒラタドロムシ類	サカマキガイ
ナガレトビケラ類	カワニナ類	

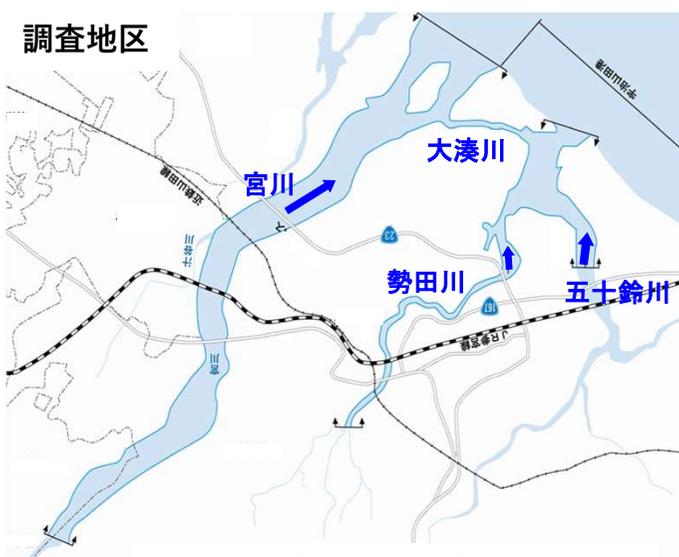


- 令和2年度は河川環境基図の調査を実施しました。
- 群落面積は、近年は樹木伐開が行われていることもあり、木本植生が減少し自然裸地が増加しています。
- 重要種群落は、令和2年にフクド群集が増加し、拡大しています。
- 外来種群落は、年による変動はあるものの、概ね一定の面積となっています。

河川水辺の国勢調査の実施状況 (宮川：H13以降)

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
魚類																									
底生動物																									
鳥類																									
両生類・爬虫類・哺乳類																									
陸上昆虫類																									
植物																									
河川環境基図																									

調査地区



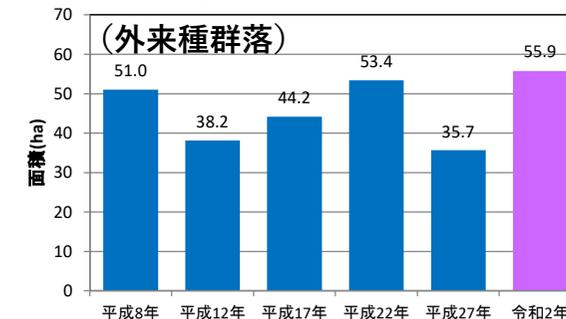
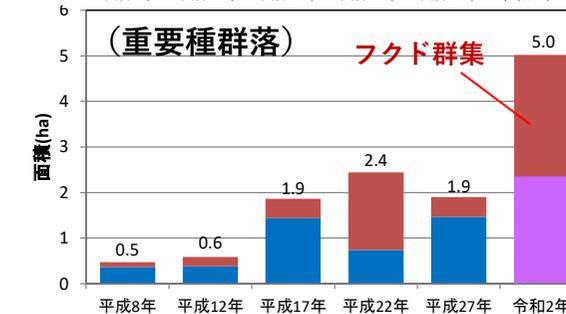
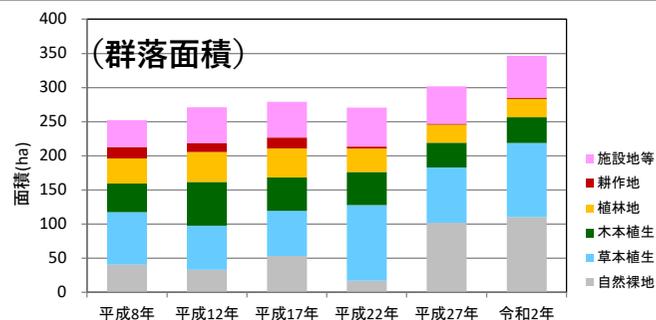
※調査は、直轄管理区間全区間で実施



重要種群落 (フクド群集)



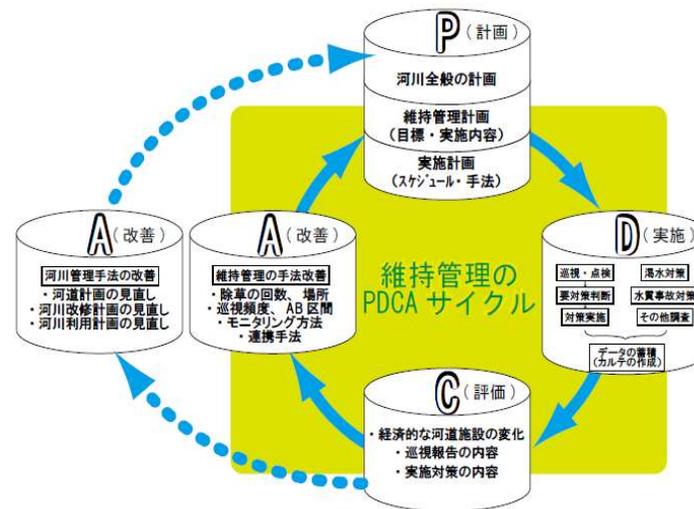
外来種群落 (セイタカワタチ群落)



- 河川巡視・点検等により状況把握を行い、維持管理対策を実施します。
- 得られた知見を分析・評価し、河川維持管理計画に反映するサイクルの体系を構築しています。

維持管理

治水	河川の巡視・点検・調査 河川管理施設等の点検・維持管理 河道の維持管理 危機管理対策
利水	流量等のモニタリング 渇水時の対応等(水利用の調整)
河川環境	河川空間の保全と利用 水難事故の防止 不法占用・不法行為等の防止 住民参加と地域連携による川づくり



台風期点検・出水期前点検



重要水防箇所の合同巡視



機械・電気設備の点検



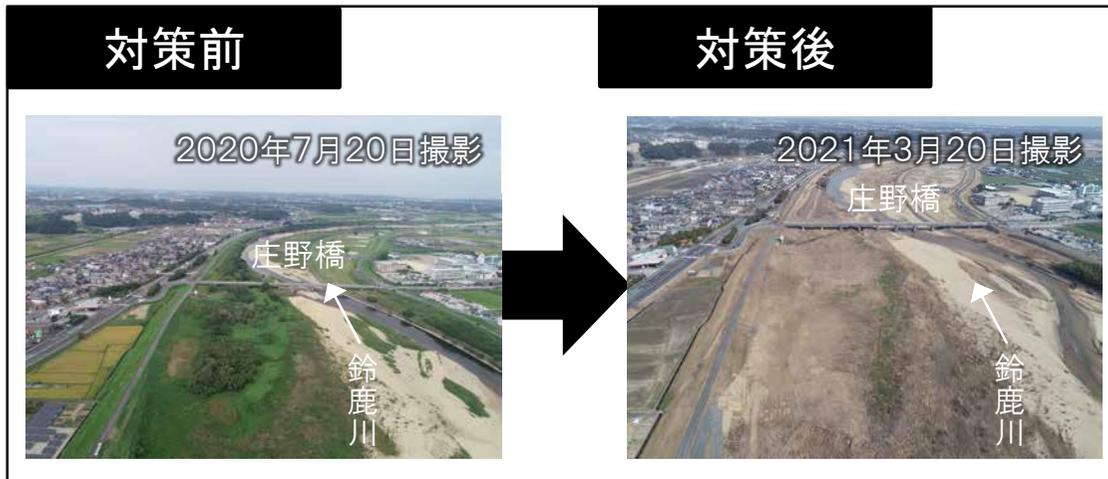
安全な河川敷地利用連絡協議会
(水難事故対策)



宮川渇水調整協議会

河川維持修繕事業

- 3か年緊急対策により河川管理上支障となっている樹木の伐採等を行い、流下能力の回復を図りました。
- 今後も、河道の状況等を把握しながら、適切な維持管理に努めていきます。



雲出川 事業の内容(維持)



河川維持修繕事業

- 3か年緊急対策により河川管理上支障となっている堆積土砂の掘削等を行い、流下能力の回復を図りました。
- 今後も、河道の状況等を把握しながら、適切な維持管理に努めていきます。

